

LIXIL

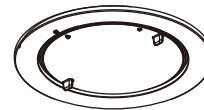
ダウンライトセットガーデンルーム用 取扱説明書

AC100V調光機能付き

保管用

お客様へ

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。
 この取扱説明書は大切に保管してください。
 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
 損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
 説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
 内容」です。



注意

「傷を負うことや、財産の損害が
 発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

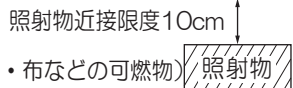


警告



必ず守る

- 異常を感じた場合や、ランプを交換しても点灯しない場合は、速やかに電源を切る異常状態が収まったことを確認し、販売店・工事店にご相談ください。
- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように注意する守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。



- ランプは適合のものを使用する
 間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止

- アルカリ系洗剤は使用しない
 強度低下により破損し、落下するおそれがあります。



注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
- ◎1年に1回は別紙「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
- ランプ交換、お手入れの際は電源を切る
 通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

- 器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する
 器具の取り外しには資格が必要です。



禁止

- LEDを直視しない
 目の痛みの原因となることがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
 やけどの原因となることがあります。
- ◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

- 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客さまにお渡しください。
- 施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

危険



禁止

- 断熱材・防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災のおそれがあります。
- ・住宅の断熱施工天井には、使用できません。



警告

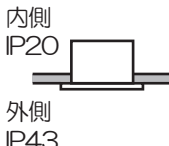
■天井

- 次のような場所には取り付けない
火災・落下によるけが、天井材破損のおそれがあります。

- ・強度のない薄い天井面
- ・ロックウールなどのやわらかい天井面
- ・傾斜角55度を超える天井面
- ・器具背面より雨の吹き込みや水滴のかかる場所
- ・振動のある場所
- ・業務用浴場サウナルームなど高温多湿になる場所
- ・腐食性ガスの発生する場所
- ・天井内の湿度が高く結露のおそれのある場所

◎この器具は天井面埋め込み専用防湿防雨型です。

(天井外側のみ防水構造となっており、天井内側から湿気や水気が侵入する場所には取り付けないでください。)

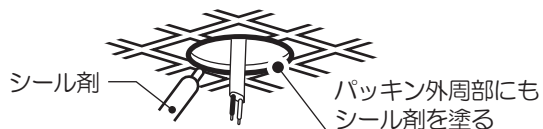


◎石こうボード(9mm以上)に取り付けできます。

- 特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない
過熱して火災のおそれがあります。

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの木造の造営材に器具を取り付ける場合は、器具の金属部と絶縁をとる
器具の本体などとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けてください。守らないと、漏電した場合、火災、感電のおそれがあります。

- 天井面と本体パッキンのスキマおよびパッキン外周部にシール剤を塗る



本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで埋めてください。防水が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。



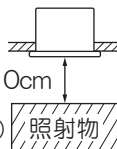
必ず守る

- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないよう考慮して取り付ける

守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。

照射物近接限度10cm

(ドア・家具・布などの可燃物)



- 本体を埋込穴に確実に押し込む
押し込みが不十分な場合、ガタツキ、器具落下のおそれがあります。



禁止

■壁スイッチ



必ず守る

- 適合するスイッチ、ライトコントロールを使用する
指定以外のスイッチ、ライトコントロールと組み合わせて使用すると、火災のおそれがあります。
起動方式CB1に適合したパナソニック製ライトコントロールを使用してください。

警告

■ その他



必ず守る

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実にを行う
取り付けに不備があると、火災・感電・落下
によるけがのおそれがあります。
- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災・感電の
おそれがあります。
- 電源線は端子台カバーの上から端子台の
差込穴の奥まで確実に差し込む
端子台カバー外れや差し込みが不完全な場合、
火災、感電のおそれがあります。
- 送り総容量は4A以下にする（照明器具専用）
火災のおそれがあります。



アース線
接続

- 接地工事は、電気設備の技術基準に従い
確実にを行う

接地が不完全な場合、感電のおそれ
があります。



禁止

- 屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に
接触させない

火災のおそれがあります。

注意



必ず守る

- 器具の取り付け取り外しは
手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります。



禁止

- 温度の高くなるものの上に取り付けない
火災の原因となることがあります。

◎ガス機器やその排気筒の上に
取り付けないでください。

施工前のご確認事項

- 壁スイッチを設けてください。点灯消灯させたり、お手入れの際に電源を切ることができます。
- ほたるスイッチと接続する場合は1回路につきスイッチ3個まででご使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)
- かってにスイッチなど高機能スイッチを使用する場合は、起動方式CB1に適合したパナソニック製スイッチを
使用し、接続台数、方法は取扱説明書に従ってください。
- 照明器具の送り総容量（照明器具専用）は4A以下です。ご使用されるスイッチなどにより総容量が制限される場合
があります。スイッチなど、最大負荷および、接続可能台数をご確認いただき、その範囲内でご使用ください。

【ライトコントロールと接続して使用する場合】

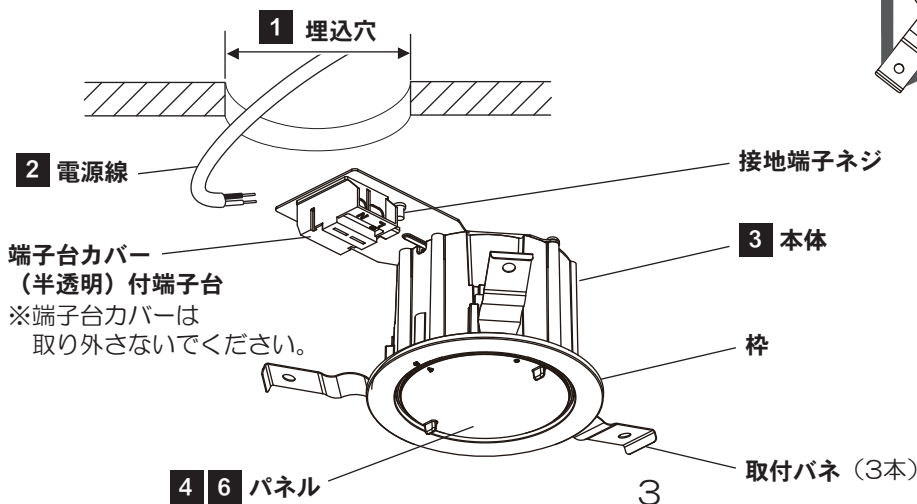
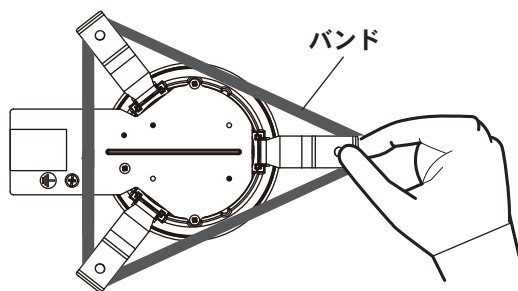
- 起動方式CB1に適合のパナソニック製ライトコントロールをご使用ください。
- 接続台数、方法については、ライトコントロールの取扱説明書に従ってください。
- 送り配線する場合、ライトコントロールの最大負荷および、接続可能台数まででご使用ください。

各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前のご注意

- 埋込高さは80mm以上必要です。
- 表面に凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれないよう、
平面に仕上げてください。
- 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。
- バンドを外してください。



1 天井に埋込穴をあける

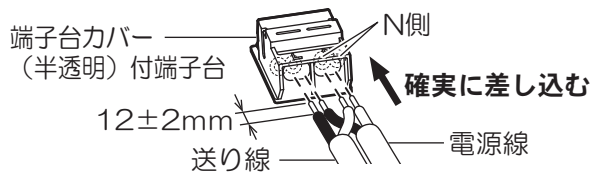
- 下記寸法の穴をあける

天井の厚さ		埋込穴寸法
5mm以上	9mm未満	$\phi 100 \pm 1 \text{ mm}$
9mm以上	25mm以下	$\phi 100 \pm_{-0}^{+3} \text{ mm}$

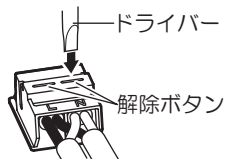
※指定寸法でない場合、すき間が空き、気密性が保たれないおそれがあります。精度よく穴をあけるために、ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

2 端子台に電源線を接続する

- 電源線は端子台カバーの上から端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む。
- 適合電線：VVVF $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$ 単線



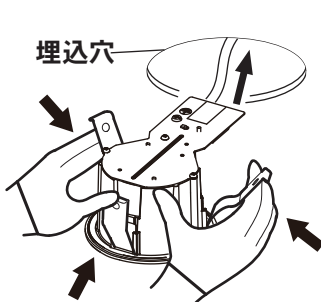
電源線の取り外し方は、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。



- 接地端子ネジよりD種（第3種）接地工事を行う。

3 本体を埋込穴に取り付ける

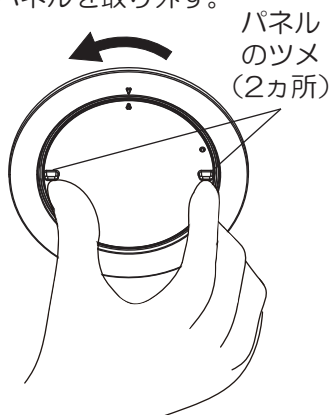
- 取付バネ（3本）を押さえながら、端子台側から埋込穴へ押し込む。



注意 石膏ボードから器具を取り外す場合は、天井材の破損にご注意ください。枠部をゆっくり引き下げ、取付バネを押し曲げながら取り外してください。取り外しに不備があると、天井材破損の原因となります。

4 パネルを取り外す

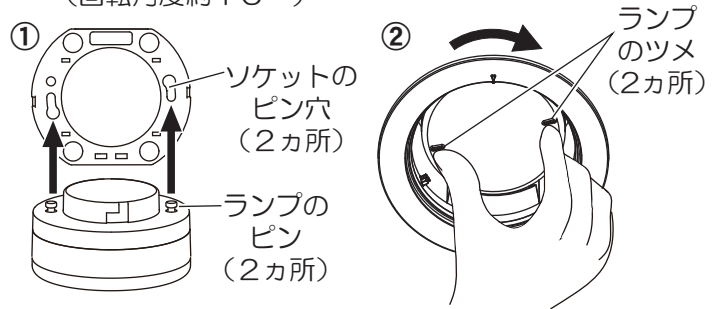
- パネルのツメに指を引っ掛け、矢印の方向に回して、パネルを取り外す。



注意 パネルを取り外す場合、パネルから手を離さないでください。落下によりケガのおそれがあります。

5 ソケットにランプを取り付ける

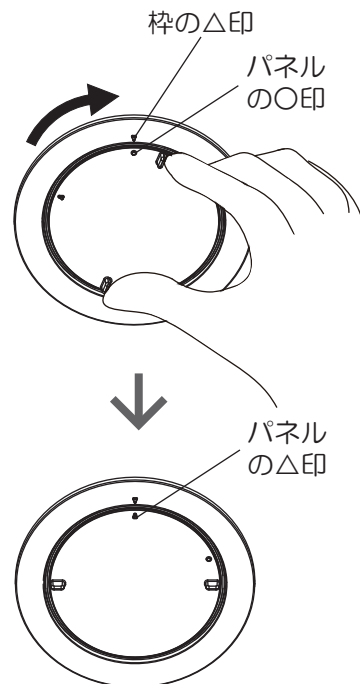
- ① ソケットのピン穴にランプのピンを入れる。
- ② ランプのツメに指を引っ掛け、カチッと音がするまで矢印方向に回して、確実に取り付ける。（回転角度約15°）



注意 ランプを取り付ける場合、ランプから手を離さないでください。落下によりケガのおそれがあります。

6 パネルを取り付ける

- ① パネルにパッキンがついていることを確認する。
- ② パネルのO印と枠部の△印を合わせる。
- ③ パネルのツメに指を引っ掛け、矢印の方向に回して、パネルと枠の△印を合わせる。



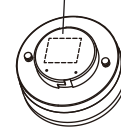
注意 パネルを取り付ける場合、パネルから手を離さないでください。落下によりケガのおそれがあります。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- ランプの明るさが低下するとランプの寿命です。ランプを交換してください。
- 交換ランプは、取り外したランプ背面の品番表示を確認ください。
- パナソニック製ランプとの交換を推奨します。
同じ種類、ワット数のランプでおすすめ以外のものを使用された場合、
短寿命・故障の原因となることがあります。また、保証の対象外となります。
- ご使用のスイッチ、ライトコントロールとの適合も合わせて必ず確認ください。

ランプ
品番表示

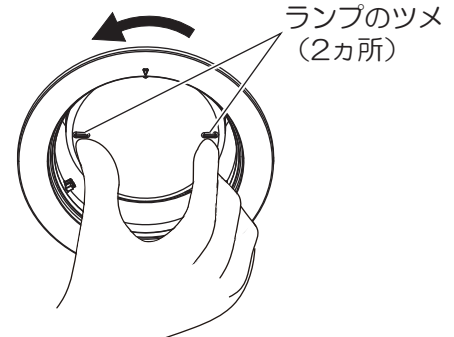


ランプの取り外し方法

- ランプのツメに指を引っ掛け、カチッと音がするまで矢印方向に回す。(回転角度約15°)

注意 ランプを取り外す場合、
ランプから手を離さないでください。
落下によりケガのおそれがあります。

※パネルの取り付け・取り外し方、ランプ取り付け方は、「各部のなまえと取り付けかた」4ページ **4** ~ **6** をご覧ください。



お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、
定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、
乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- ランプはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- ランプを交換しても点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店にご相談ください。
- ライトコントロールの取扱説明書をご確認ください。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

仕様

付属ランプの品名はランプに表示しています。ご確認ください。

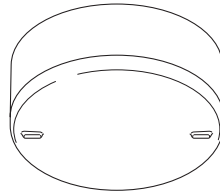
使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	付属ランプ	口金
AC100V	50/60Hz共用	7.0W	0.13A	LEDフラットランプ LLD4000LCB1	GX53-1

- 器具本体にはランプの種類まで表示されておりません。
ランプ背面を確認し、品番にチェックしてください。

適合ランプ

LEDフラットランプφ70(調光器対応)(逆位相専用)

品番 LLD4000LCB1



安全上のご注意

必ずお守りください

使用上のご注意

<p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 取り付け・取りはずしや器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。(感電の原因) ● 非常用照明器具、誘導灯器具、水銀灯器具などでは、絶対に使用しないでください。(破損・発煙の原因) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 直流電源では絶対に使用しないでください。(破損・発煙の原因) ● 破損したランプは使用しないでください。(けが、感電の原因)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙や布などでおおったり、燃えやすいものを近づけないでください。(火災、器具過熱の原因) ● 電源を入れた状態や電源を切った後しばらくの間は、ランプが熱いので触れないでください。(やけどの原因) ● 当てたりして傷をつけないでください。(破損、けがの原因) ● 水滴のかかる状態や湿度の高いところで使用しないでください。(破損、絶縁不良の原因) ● 点灯中のランプを直視し続けしないでください。(目を傷める原因) 	<ul style="list-style-type: none"> ● シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤でふかないでください。(破損の原因) お手入れは、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽くふき取ってください。 ● 温泉地など酸や硫黄などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。(短寿命・落下・漏電・破損の原因) ● ランプはソケットに確実に取り付けてください。(落下の原因) <p>必ず守る</p>

- 交流100V、周波数50/60Hz以外の電源で使用しないでください。
- ランプ周囲温度が0℃~40℃の範囲で使用してください。
- 逆位相調光器専用です。
- 次の調光器では使用できません。※ (破損・発煙・ちらつき・不点灯の原因)
 - ・ 人感センサ付調光器・定格1000W以上の調光器・段調光型調光器・リモコン式調光器
 - ・ 記憶式調光器(あかりのシーンをボタンひとつで再現できる調光器)・蛍光ランプ用調光器
- ※パナソニック製適合調光器を除く。適合については調光器の施工説明書をご確認ください。
- 以下の条件を満たす場合、屋外器具での使用が可能です。
 - ・ 下面開放を除く防雨型、または防湿型・防雨型の器具で使用すること。(水滴、結露による故障の原因)
 - ・ ランプ周囲温度0℃~40℃の範囲で、点灯時に器具に直射日光があたらない場所で使用すること。(水滴、結露による故障、温度過熱による短寿命の原因)
 - ・ 屋内配線に接続された器具(宅内のプレーカーに接続された器具)で使用すること。(雷などの高電圧による短寿命の原因)
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯すると、雑音が入ることがあります。(雑音が入る時はランプから1m以上離してご使用ください。)
- 赤外線リモコンを採用した機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯すると、リモコンが誤作動することがあります。
- バーコードリーダーの近くで点灯するとバーコードが読み取れない場合があります。
- 分解や改造はしないでください。LED素子などは交換できません。
- 水洗いは絶対にしないでください。
- LED素子にバラツキがあるため、同じ品番の商品でも光色・明るさが異なることがあります。
- 外觀などの仕様は、予告なく変更することがあります。
- 専用器具でご使用ください。現在ご使用されている器具の適合ランプ品番をご確認ください。

調光時のご注意

- 調光状態から点灯する場合は一瞬明るくなることや、点灯までに時間がかかることがあります。点灯しない場合は、調光つまみを明るい側に操作すると点灯します。
- 調光器を2台以上お使いの場合や大電力機器(ドライヤー・電子レンジ・冷暖房機器など)を使用したことによる電圧の変化などで、ちらついたり明るさが変化する場合があります。
- 消灯する場合は、電源スイッチを切ることをおすすめします。調光つまみを絞って消灯させても電力を消費しています。
- 複数のランプを1つの調光器で使用する場合は、調光つまみが暗い状態ではランプ特性により個々の消灯や明るさに違いがでます。消灯した場合は、調光つまみを戻して点灯させ、消灯しない範囲で使用してください。
- 調光した場合、わずかに「ジー」という音がかかりますが、異常ではありません。
- 調光時にランプがちらつく場合は、調光器のつまみを操作して、ちらつかない位置で使用してください。

● 〈照明器具〉安全チェックシート ●

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

安全点検項目	点検結果(該当には○)					処置手順	安全点検項目	点検結果(該当には○)					処置手順
	/	/	/	/	/			/	/	/	/	/	
1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。						○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止の為にお取り替えをおすすめします。	1. 購入後、10年以上経過している。					○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。	
2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。							2. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。						
3. プラグやコードなどが異常に熱い。							3. カバーなどに変色・変形がある。						
4. こげくさい臭いがする。							4. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。						
5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。							5. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。						
6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。							上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。						



このような症状はありませんか

取説コード

EXM-028

202102A_1009